

教育委員会（ 1 月 ）会議録（要点筆記）						
招 集 年 月 日	令和 7 年 1 月 2 9 日（水）					
招 集 の 場 所	白馬村役場 2 階 庁議室					
開 閉 会 の 日 時 及 び 宣 言	開 会	令和 7 年 1 月 2 9 日（水）午後 1 時 2 6 分				
	閉 会	令和 7 年 1 月 2 9 日（水）午後 2 時 1 3 分				
出 席 委 員	職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	教 育 長	横 川 秀 明	教育長職務代理者	幅 下 守	委 員	松 沢 亨
	委 員	武 田 弥 生	委 員	服 部 知 子		
事 務 局	教 育 次 長	横 川 辰 彦	子育て支援課長	内 山 明 子	公 民 館 長	太 田 洋 一
	教 育 係 長	今 井 志 保				

会議の要旨

1 開 会

〔教育長〕

開会を宣言した。

2 令和6年12月定例会の会議録について

〔教育長〕

異議なく承認された。

3 報 告

○教育長報告

大糸タイムスと商工会の賀詞交歓会が14日と16日に開催された。

16日に南小と河津小の交流会を開催した。五竜エスカルプラザで昼食を取った後、スキーと雪遊びをした。子どもたちは大変楽しく良い交流ができた。

23日は北小が、太地町と北山町の2つの小学校の子どもたちと岩岳で交流会を開催した。太地町と北山町で40人ぐらいの児童と北小の4年生が交流した。

28日から全日本のコンバインドが始まっている。

○教育次長報告

例年になく大雪で、学校では桜の枝が折れたり、屋根のトタンがずれる被害が出ている。建物の屋根雪など自分たちで出来るところは、学校用務員や教育課で除雪を行っているが、高いところの雪庇は業者に依頼して高所作業車で切って、安全を確保している。

7年度予算編成に伴い、総務課から学校の修繕事業について6年度予算で執行するよういくつか指示があった。内容は、3校の校長室のエアコン、南北小学校のFF暖房機の入替えなど。教員住宅の解体費用の余剰分で執行する予定だが、北小の中間教室への改修も予定より高額になりそうで、人件費など余剰が見込まれる費目から予算を流用して、今年度の予算の範囲内で執行する予定。

白馬北小4年生の活動で学校の小ジャンプ台を改修するための募金活動を行っているが、200万円を超えるお金が既に集まっている。さらにクラウドファンディングで100万円を目標としており、PTAの自己資金と合わせると年度末で600万円ぐらいになりそう。工事の見積もりが、当初1000万円だったものが800万円ぐらいになっており、大口の寄付もPTAが募って新年度に事業化したいと動いているが、まだ流動的である。

○子育て支援課長報告

学校の学習ボランティアの方が、2回ほど、児童クラブで宿題を見たり児童と遊んだ。3年生以上の勉強を見たいと言っていたので、児童クラブは1年生が中心なので少し物足りなさそうだった。

来年度の保育園の未満児の通知を1月中旬に発送している。今のところ申込者全員が入れるが、ほぼ満員の状態。

子育て支援施設は、これから業者が入り、どう建てられるか調査する。

○公民館長報告

昨日と今日、全日本ノルディックコンバインドを開催した。このシーズンは降雪量が多かったので、ジャンプ台ノーマルヒルの除雪作業を役場職員で1月18日に行った。150cmぐらい積もっていたが1日で作業は終了した。25、26日に白馬少年クロスカントリー大会をスノーハーブで行った。29校、227人が参加した。

○学校の報告

1月22日の校長教頭園長合同会議の報告に基づき、教育係長が報告した。

○保育園の報告

1月22日の校長教頭園長合同会議の報告に基づき、子育て支援課長が報告した。

4 議 事

○承認第1号 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第8号)(教育予算)に対する意見について

・教育次長、子育て支援課長が、それぞれ主管課の補正予算について、資料に基づき説明した(ヒスタミン食中毒補償費、子育て世帯物価高騰対応交付金)

・全員賛成で承認された。

○承認第2号 下学年への就学許可について

[教育次長]期間は1月9日から3月31日まで。外国籍の方で日本語にまだ混乱があるので通常なら2学年だが1学年に入るもの。

・全員賛成で承認された。

○承認第3号 白馬中学校の一部休業について

[教育次長]白馬中学。インフルエンザと診断されていないが、同様の風邪症状、頭痛・発熱症状を発症する者が10名ほどおり、拡大しそうだったので1月24日(金)を休業とし、土日を含み3日間の休養期間を設けた。それ以降は特に感染の拡大は見られない。

・全員賛成で承認された。

○議案第1号 指定校の変更について

[教育次長]住所は神城なので通常であれば南小だが北小へ行きたい。事業所が平川端にあり、南小より北小の方が近く、そこに帰りたい。就学希望期間は11年3月31日までとなっているが、事情が変わる可能性もあるので、来年1年度分で許可をしたい。

・全員賛成で可決された。

○議案第2号 指定校の変更について

[教育次長]現在、南小学校区内に住宅の建築を進めているため。令和8年3月31日まで1年間。

・全員賛成で可決された。

○議案第3号 指定校の変更について

[教育次長]南小1年生。神城に住宅を建築中のため。

・全員賛成で可決された。

○議案第4号 指定校の変更について

[教育次長]保護者が共働きで下校後に家庭に保護できる者がいないため、祖父母宅に下校するもの。

・全員賛成で可決された。

○議案第5号 指定校の変更について

[教育次長]保護者の就労先が神城で親の就業場所から登下校したいため。

・全員賛成で可決された。

○議案第6号 就学支援児童の就学先について

[子育て支援課長]就学相談委員会で、特別支援学級に在籍して支援を受けることが望ましいと判断された。昨年からの登校渋りがあったが、試しに学びの教室に行ったところ、子どもも保護者も落ち着いた。来年の4月から入級と判定。

・全員賛成で可決された。

5 その他

・「第3期白馬村こども計画」に対する村民意見の募集(パブリックコメント)について

[子育て支援課長]3回の会議が終わり、白馬村こども計画の素案を作成した。1月17日から2月15日までの30日間、パブリックコメントを行っている。今まで白馬村子ども子育て支援事業計画と次世代育成支援行動計画はあったが、18歳までを見越して、子どもの貧困対策や子ども若者計画を入れたこども計画を作ることが努力義務になった。それに伴い未就学児の保護者だけでなく、小学校5年生と中学校2年生の子ども自身とその保護者、15歳から39歳の若者に対して無作為抽出でアンケートを行い、その意見を反映した。

白馬村の子育て環境の満足度は、やや低いという方が若干だが多くなっている。子育てがづらいと思うような方も4割弱ほどいた。子どもや若者は、自分が好きだとか、自分の未来に明るいものを感じる、保護者に大切にされていると思うというような肯定的な意見が多かった。保護者はそう思っていない意見が半分くらいあり、厳しい結果であった。ヤングケアラーの項目で、手伝いが無かったら学校に行きたいという子どもが10人ほどいたので、この結果は学校とも共有したい。

基本理念は子どもを中心に、笑顔かがやき健やかに育つ白馬のこども。それに対して、ライフステージを通じた切れ目ない支援、子供の健やかな育ちへの支援、子育て・子育てを支える村づくり、子ども・若者の成長と自立への支援といった基本目標を4つ立てて進めている。

[委員]このままホームページで公表しているのなら、ヤングケアラーの数字が、回答数が少ないので比率が高く、誤解を招くのではないかと。学校行く時間を減らさなきゃいけないと答えたのは10人なのに、割合だと9.3で1割と捉えたとすごい数である。1日4時間以上手伝いをしているのは、3人だが割合だと30%で、数値にすると誤解を招く気がする。数字や%が1人歩きしそう。少し工夫して誤解を招かないよう配慮してほしい。

[子育て支援課長]出し方は少し検討したい。自由記載で気になるところは、学校の先生に情報提供していきたい。ヤングケアラーのアンケートは別にあるので、そちらも検討していきたい。

・卒業式等への出席について

[教育次長]今年度の卒業式は小学校が3月13日。南小と北小へ、それぞれこのような分けて出席をお願いしたい。中学校は3月14日。

7年度の入学式は、今のところ4月7日を予定。午前が小学校、午後は中学校。教育長が行かない方の小学校には職務代理が行き、教育委員会告示を行う。

・社会教育関係行事等について

[公民館長]新潟大学に委託して、氷河の調査を行っていた。今年の1月6日に、この調査に関する学術論文

が受理されたことにより、杓子沢雪渓と不帰沢雪渓が氷河であることが確認された。白馬村には唐松沢氷河を含め3つの氷河が存在する。特に杓子沢氷河は麓から見られる。今後、学校教育や生涯学習に生かしていきたい。

[教育長]白馬沢も今調査中で、今年の秋ぐらいに確認される予定。

[公民館長]長野市交響楽団、県民コンサートin 白馬が3月2日(日)ウイング21文化ホールで14時から行われる。入場料は無料。

[公民館長]村の文化財指定天然記念物の堀之内にある田頭のシダレザクラと嶺方にあるクリとイチイが、この豪雪で折れた。

・教育委員の異動報告(大町市)

[教育次長]大町市から教育委員の新任の報告が届いた。これに伴い職務代理も変更。

[教育長]県の機構改革で、今まで学びの改革支援課と生涯学習スポーツ課は別々だったが、令和7年度から学びの共創課で一緒になる。これで生涯学習の部分と学校教育の部分が一緒になる。逆に国体選手強化などスポーツ係が首長部局に移り、学校体育だけが残る。

・2月の日程について

[教育次長]資料により説明。

次回定例会日程案

令和7年2月26日(水)午後2時から。

署 名 欄	
教 育 長	
教 育 長 職務代理者	
委 員	
委 員	
委 員	